

平成28年 近畿地区の造船業・舶用工業の現況

近畿運輸局海事振興部

I. 造船業

1. 造船業の概要

近畿運輸局管内の造船事業者は、平成29年3月末現在で54社56工場です。

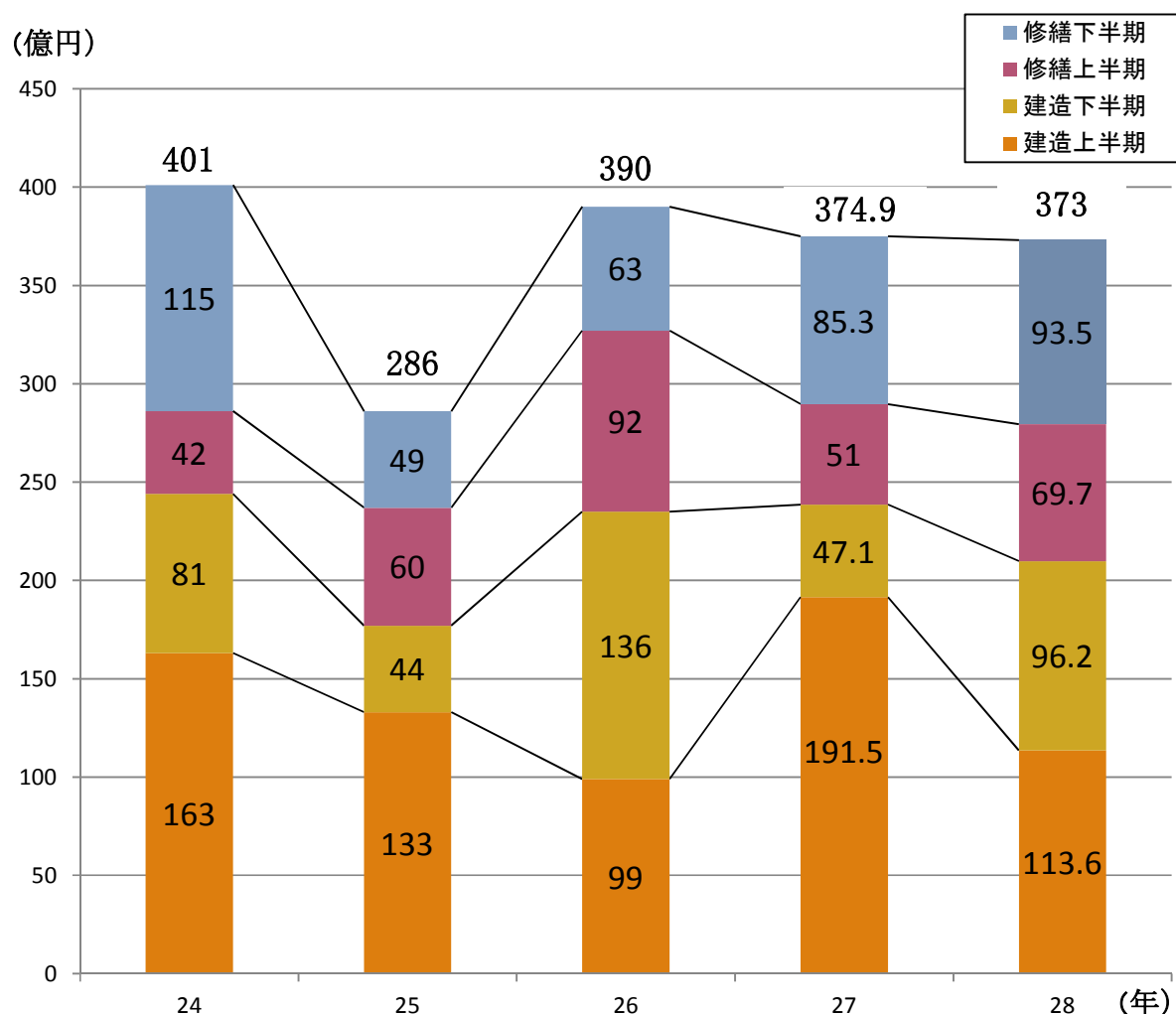
平成28年の総売上高(建造及び修繕の合計)は373億円で前年と比べると0.5%の減少となりました。

内訳としては建造で214.4億円(前年比10.1%減)、修繕で163.2億円(前年比19.7%増)となりました。

全国計では、平成28年の総売上高は1兆6,006億円で前年と比べると5%の増加となりました。

内訳としては建造で1兆5,127億円(前年比6.8%増)、修繕で879億円(前年比19.1%減)となりました。

図I-1 総売上高の推移



※20トン未満及び長さ15m未満の船舶の実績についても計上

※総トン数を有しない船舶(艦艇等)の実績についても計上

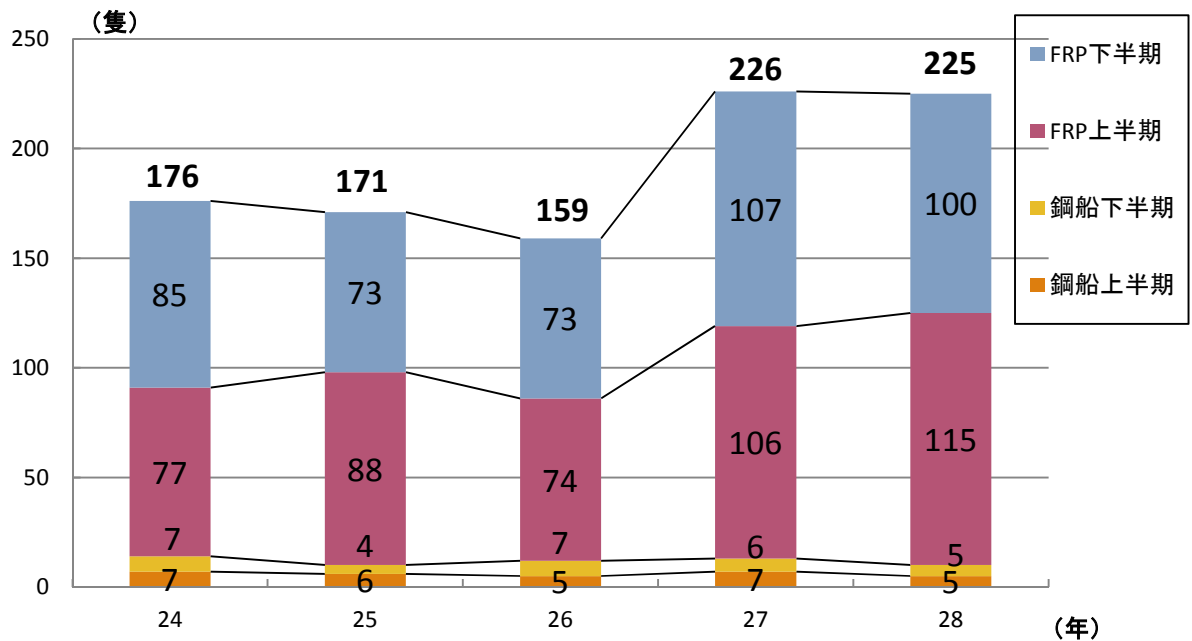
本資料では近畿運輸局管内(大阪府、京都府、奈良県、滋賀県、和歌山県)の実績を示している。
(兵庫県については神戸運輸監理部が管轄)

2. 建造実績

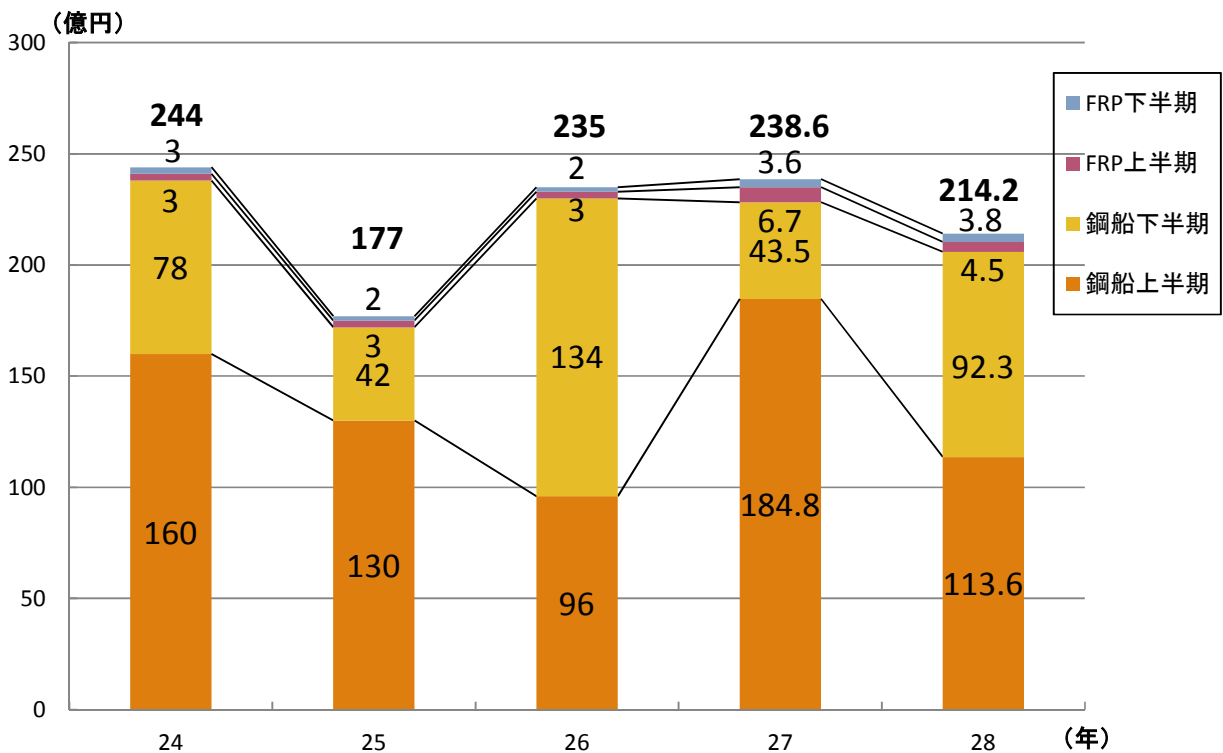
平成28年の建造実績は、225隻、214.4億円で、前年と比べると隻数で0.4%減、売上高では10.1%減となりました。

内訳としては、FRPは215隻、8.3億円（前年比0.9%増、前年比19.4%減）で、鋼船は10隻、200.5億円（前年比23.1%減、12.2%減）でした。

図 I - 2 建造隻数及び売上高の推移



※FRPの数字についてはアルミ船及び木船も含む



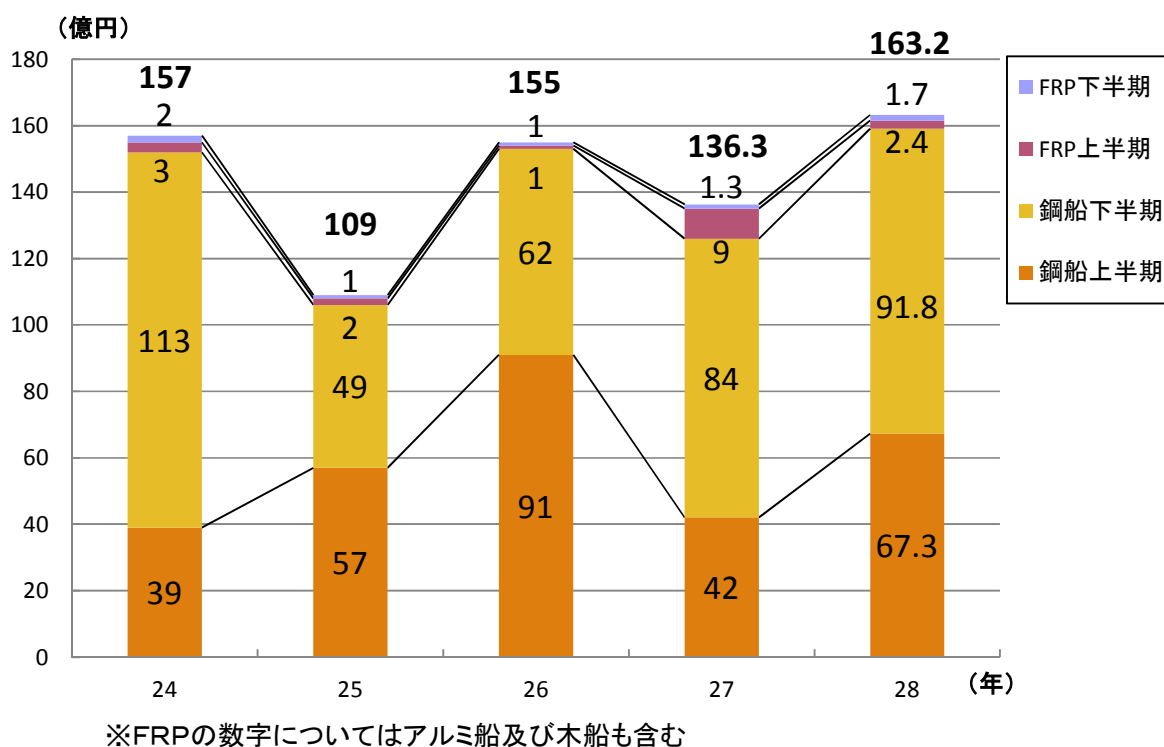
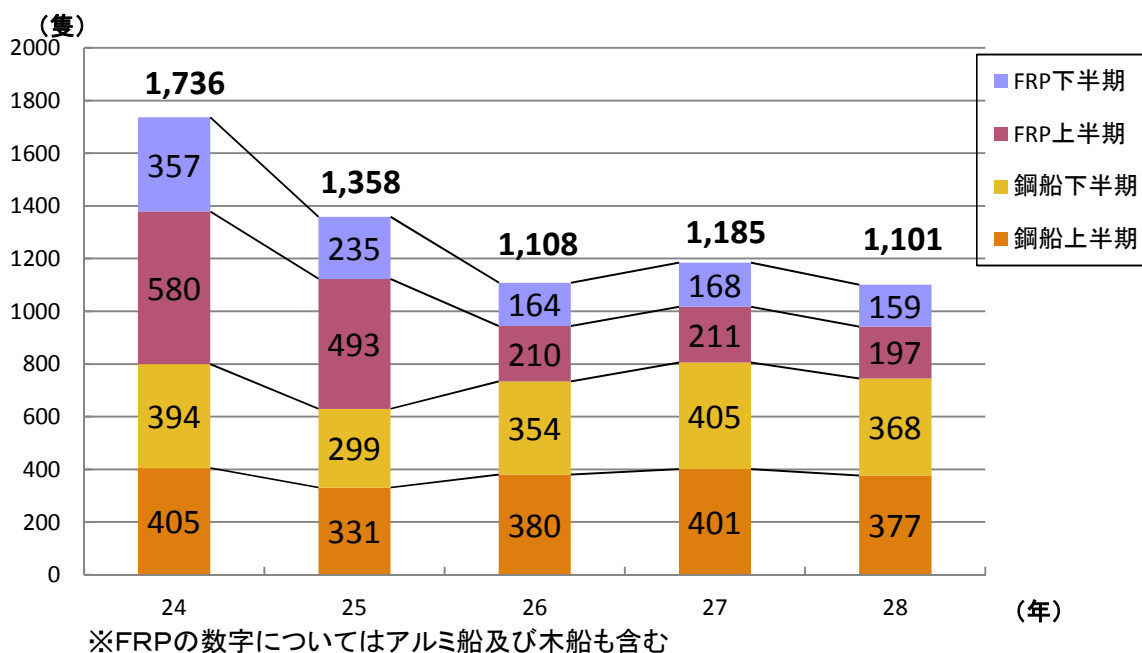
※FRPの数字についてはアルミ船及び木船も含む

3. 修繕実績

平成28年の修繕実績は、1,101隻、163.2億円で、前年と比べると、隻数で7.1%減、売上高で19.7%増となりました。

内訳としてはFRPは356隻、4.1億円(前年比6.1%減、60.2%減)で、鋼船は745隻、159.1億円(前年比7.6%減、26.3%増)でした。

図 I - 3 修繕隻数及び売上高の推移



Ⅱ. 舶用工業

1. 舶用工業の概要

近畿運輸局管内の舶用工業事業者は、平成29年3月末現在で122社124工場です。

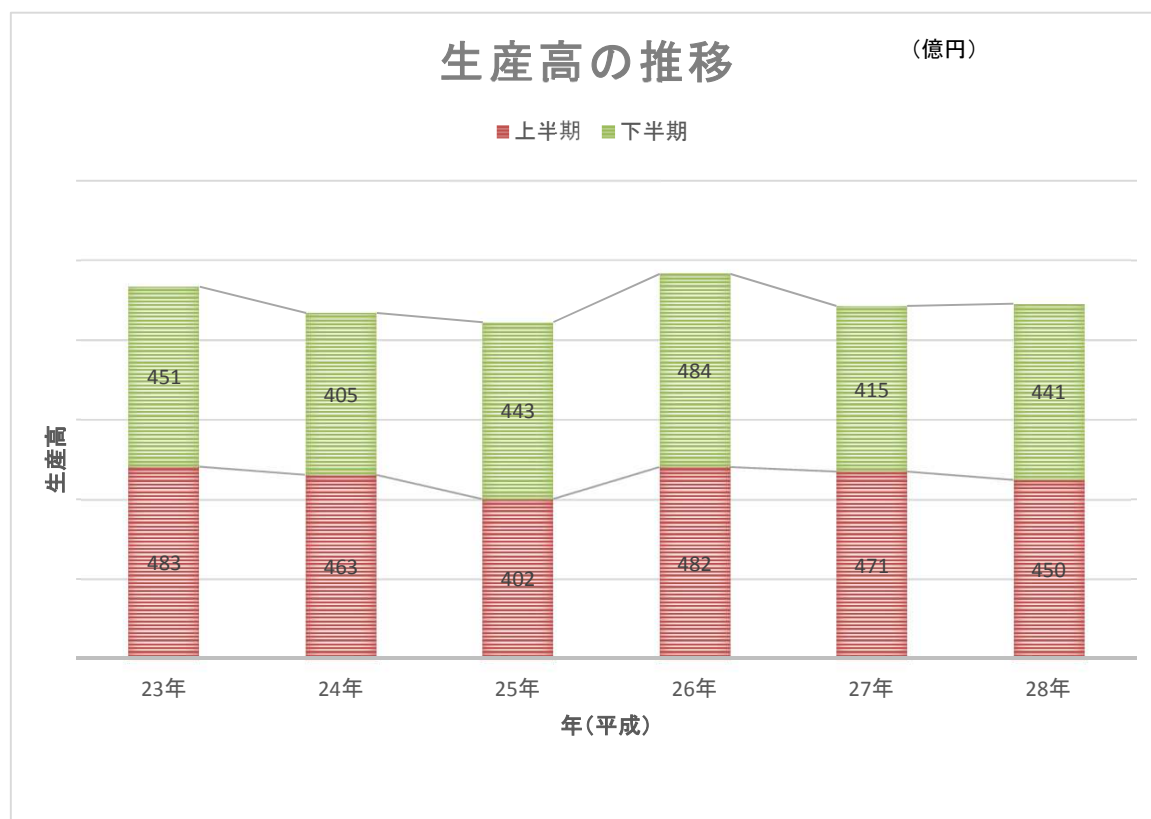
平成28年の総生産高(生産及び修繕の合計)は950億円で前年(平成27年実績939億円)と比べると1.17%の増加となりました。

2. 生産実績

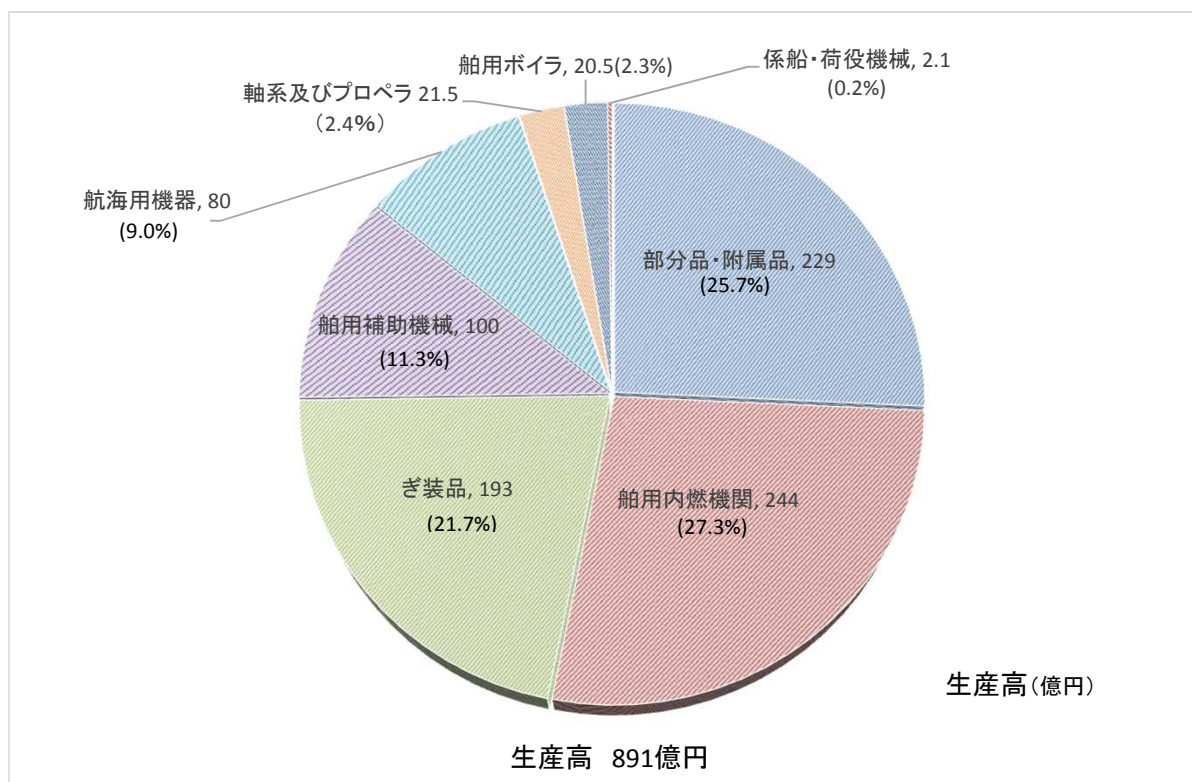
平成28年の生産高は891億円(前年比0.4%増)で、内訳としては舶用内燃機関は前年比約8.5%、舶用ボイラは約7.9%、航海用機器は約17%、ぎ装品は5.5%の増加、舶用補助機械は約21%、軸系・プロペラは約3.7%の減少で、内燃機関、航海計器、ぎ装品等の伸びで生産高が増加となっております。

品目別生産高で見ると、舶用内燃機関が243.6億円と最も多く、次いで、部分品・付属品が229.2億円、ぎ装品が193.1億円、舶用補助機械が100.9億円っており、これら4品目で全体の約86%を占めています。

図Ⅱ-1 生産高の推移(平成23年-平成28年)(管内)(修繕除く)



図Ⅱ－２ 品目別生産高及び構成比(平成28年)管内(修繕除く)



3. 修繕実績

平成28年の修繕高は約59億円で、前年(平成27年績51億円)と比べると16.3%の増加となりました。品目別で見ると、船用内燃機関が約20.0億円、船用補助機械が約37.3億円となっており、この2品目で修繕高の約97%を占めています。

図Ⅱ－３ 品目別修繕高及び構成比(平成28年)管内

